

カラー目地 施工要領書

【施工方法】

1. 材料の混練

- ・ 表 1 の調合に基づき、カラー目地を練り混ぜてください。
- ・ バケツに練り水を入れ、カラー目地の粉体を徐々に加えながら、機械器具(ハンドミキサー等)を用いて練り残しのないよう十分に練り混ぜてください。
- ・ 練り混ぜた材料は 60 分以内にご使用ください。

表 1

調合	UM21	目地セメント粉体	上水道水
	UM22	10kg	2.8～3 ℓ
UM23～UM30	5kg	1.4～1.5ℓ	

UM21・UM22 は 10kg 紙袋入り

UM23～UM30 は 5kg ポリ袋入り×3 個の段ボール入りとなっています。

- ・ 色調に不具合の生じることがありますので、水量は指定範囲からはずれないようにしてください。
- ・ 練り足しや水を加えての練り戻しは行なわないでください。

2. 目地詰め

- ・ タイルの側面や張付材の吸水が激しい場合は、硬化不良やひび割れ予防のため目地部分に水湿しを施して目地詰めを行なってください。(カラー目地充填時に目地部に水が溜まっている場合は、色ムラ・白華現象等の原因になりますのでスポンジ等で吸い取ってください。)

『 塗り込み目地工法 』

- ① 練り混ぜたカラー目地を、ゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。
- ② タイル汚れの拭き取りは乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。
- ③ スポンジのきれいな面が目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。
- ④ 汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って③の拭き取りを繰り返してください。

《注意》 ・ 拭き取り後に目地表面に浮き水が残っていると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意ください。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。)
・ 場所によって拭き取るタイミングに差がでると、色ムラのでる恐れがありますのでご注意ください。

3. 養生

- ・ 施工後2日間は、施工面が直射日光、雨、雪、強風にさらされないようシート掛け等によって保護してください。
- ・ タイル表面の水洗いを行なう場合は、目地セメントの材齢が7日間以上経過してから行なってください。

※ 白華現象(エフロレッセンス)が生じた場合は、対象部分付近の金属部材を養生し、対象部およびその周辺に散水を施し、濃度 3%以下の塩酸でブラシを用いて洗ってください。
酸洗い作業は、必ず現場管理者の承認を得て行ってください。

【取扱上の注意事項】

- ・ 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
- ・ 固まった製品の使用は避けてください。
- ・ 気温が 4℃以下および 4℃以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
- ・ 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
- ・ 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。

■ 本施工要領書は、作成した時点で入手した情報に基づいて作成しており、断りなく変更することがありますことをご了承下さい。

二瀬窯業株式会社

本 社： 〒820-0044 福岡県飯塚市大字横田 669
TEL (0948)22-0447 / FAX(0948)29-0289

営業所： 東 京 TEL (03) 3437-0023
大 阪 TEL (06) 6583-3310
名 古 屋 TEL (052)509-2485